平成22年度（21年度実施事業）事業評価シート

整理番号	1 － 1	事業名	道路整備事業

総合計画				平成22年度事業実施担当者			内線	252
テーマ	1	安全・安心・快適なまち		担当部室	建設水道部	部（室）長	南 治 彦	
施策	1	道路網の整備		担当課	都市整備課	課長	本 間 孝 之	
施策（小）	1	主要幹線道路の整備促進		電話番号	72－3139	担当者	櫻 井 正 登	
予算科目	会計	一般会計 （ 8 款 2 項 4 目 ）		平成21年度事業実施担当者				
	事業名	道路橋りょう新設改良費		課長	本 間 孝 之	担当者	野 宮 英 明	

事務分類	☐ 法定受託事務 ☑ 自治事務 ⟶（裁量性 ☑ 高い ☐ 低い）
根拠法令、条例等	道路法
事業期間	☐ 単年度のみ ☑ 平成 不明 年度 ～ 未定 年度

事業の内容

①対象（この事業は誰、何を対象としていますか？）

道路（橋梁含む） → 対象数 1,325 路線

→ 対象数

②目的・意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか？） ⇨ 成果指標

安全・快適な道路環境の確保。

③手段（具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します） ⇨ 活動指標

主要道路及び歩道の整備を行う。

H21年度に整備を行った路線は次の通り。
①生振3線 ②樽川西5線 ③平和仲通 ④樽川平和通 ⑤樽川西通 ⑥平和7号通 ⑦平和8号通 ⑧平和9号通

④事業実施の背景・個別計画等

経年劣化により整備が必要になっている。

⑤この事業に対しての関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からの意見・要望等

⑥平成21年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果

事業のコスト

			単位	H19	H20	H21（見込）	H22（予算）
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	176,600	197,300	93,600	75,000
		道支出金	千円				
		地方債	千円	164,845	196,914	153,935	164,264
		その他	千円				
		一般財源	千円	8,534	16,440	9,065	8,274
	小計（A）		千円	349,979	410,654	256,600	247,538
人件費等	正職員従事人数（担当課）		人	1.90	1.90	1.90	特定財源名及び補助率・充当率
	正職員（ ）		人				地域活力基盤創造交付金
	従事正職員の人件費		千円	17,045	16,844	16,844	
	その他間接経費		千円				
	小計（B）		千円	17,045	16,844	16,844	
総コスト（A）+（B）			千円	367,024	427,498	273,444	

活動指標

指標名	単位	項目	H19	H20	H21	H22
整備路線数	本	目標値	4	5	8	10
		実績値	4	5	8	
目標：予算上の路線数		達成率	100.0	100.0	100.0	
道路整備延長	m	目標値	660	780	1,900	1,780
		実績値	660	780	1,900	
目標：予算上の路線延長		達成率	100.0	100.0	100.0	
		目標値				
		実績値				
		達成率				

	指　標　名	単位		H19	H20	H21	H22
成果指標	道路整備延長	m	目標値	10,350	10,350	14,520	14,520
			実績値	6,900	7,680	9,580	
	目標：計画路線の延長		達成率	**66.7**	**74.2**	**66.0**	
	歩道整備率	%	目標値	83.0	83.0	83.0	83.0
			実績値	66.7	74.2	73.0	
	目標：総合計画戦略計画		達成率	**80.4**	**89.4**	**88.0**	
	道路の整備により市内外の移動が以前よりも便利になっとと感じる市民の割合	%	目標値	61.7	61.7	61.7	61.7
			実績値	58.7	67.1	63.8	
	目標：総合計画戦略計画		達成率	**95.1**	**108.8**	**103.4**	

1次評価　⇒　担当課長が評価します。

① 観点別評価

妥当性	ア　施策との整合性 ●事業の成果が施策の成果に結びついているか	☑ 高い　☐ 低い 整備により安全で利用しやすい道路が管理できる。
	イ　市関与の必要性 ●この事業に市が関与する必要があるか	☑ 高い　☐ 低い 市道の整備工事については石狩市が行うべきである。
	ウ　緊要性 ●この事業は今やらなくてはいけないのか	☑ 高い　☐ 低い 利用者の安全確保が図れない。
有効性	エ　休廃止の影響 ●休廃止の影響と、その解決策	☑ ある　☐ ない 維持管理コストがかさむ。
	オ　成果向上の余地 ●成果向上の余地はあるか、向上しない要因は何か	☑ ある　☐ ない 計画的に整備を進める。
効率性	カ　コスト削減の余地 ●成果を下げず、コスト削減は図れないか	☐ ある　☑ ない 国の補助事業などを活用し、事業を実施している。
公平性	キ　費用負担見直しの余地 ●一部の受益者に偏った事業内容になっていないか	☐ ある　☑ ない 費用負担を求める事業ではない。

② 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☑ 現状維持　☐ 事業統合・連携　☐事業のやり方改善（有効性改善）　☐ 事業のやり方改善（効率性改善）
☐ 事業のやり方改善（公平性改善）　☐ 休止　☐廃止

国の補助事業などを活用し、事業を計画的に進める

③ 改革改善を実現する上で解決するべき課題とその解決策

ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

1次評価に対する市民意見等

2次評価　⇒　課長評価に対する市民意見等を踏まえて、部（室）長が評価します。

① 2次評価者としての評価結果	② 評価結果の理由とその他補足事項
＜妥当性＞　☐ 課長評価どおり　☐ 見直し ＜有効性＞　☐ 課長評価どおり　☐ 見直し ＜効率性＞　☐ 課長評価どおり　☐ 見直し ＜公平性＞　☐ 課長評価どおり　☐ 見直し	

③ 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐ 現状維持　☐事業統合・連携　☐事業のやり方改善（有効性改善）　☐ 事業のやり方改善（効率性改善）
☐ 事業のやり方改善（公平性改善）　☐休止　☐廃止

修正評価　⇒　行政評価会議が部長評価を修正すべきとした場合に限り、最終評価します。